

先天性疾患をもつ子どもを妊娠した母親に関する研究

看護学科（母性看護学）

長屋 和美

●連絡先 TEL：054-202-2914
E-Mail：nagaya_kazumi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

先天性疾患, 出生前診断, 子育て支援



健やか親子21(第二次)では、すべての子どもが健やかに育つ社会を目標に、切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策や子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりが基盤課題とされています。このような母子保健関連施策は、低出生体重で生まれた子ども、先天性疾患をもつ子ども、発達支援の必要な子どもも対象であり、親やきょうだいに対する社会的な支援も重要な課題と考えます。助産師の立場から、母子に対するケアを充実させるための研究や、地域システムの構築に向けた調査を行うことを考えています。妊娠期～産褥期～子育て期および胎児期～新生児期～幼児期にわたる継続的な健康管理と支援の必要性を認識し、研究に取り組んでいきたいと考えています。